

私は死んで、住処となる

私の体は、灰になって、静かな海の底で魚たちの住処となり、地球の一部となって生き続ける。
私の魂は、天国へ行く。ここは、まさにおさかな天国である。



■ Grave Ball



「Grave Ball」(球体墓地)は、遺体を火葬したときにでる遺灰約 5000g とコンクリートを球体上に固め、穴を開けた物である。その中の中に生前の思い出の品々を入れ、海底に沈める。「Grave Ball」は海洋魚類の住処として、地球に生き始める。

■地球上の珊瑚礁の分布



珊瑚の繁殖に適している海は 25-30℃ほどの高水温、3-4% ほどの高い塩分濃度、水深 30m ほどの浅くてきれいな海域である。このような珊瑚の繁殖地域の近辺に「Grave Ball」を配置する。珊瑚礁と珊瑚礁に付着する海藻類の保全に貢献し、世界の海洋環境の浄化の中心となる。

■珊瑚の死滅

世界のサンゴ礁の 58% が潜在的に人間活動によって脅かされている。珊瑚礁は生物種の宝庫であり、これまでに確認された海洋生物種の 4 種に 1 種、海洋魚類の少なくとも 65% が生息しており、珊瑚の死滅は大きな問題である。

■海藻の減少

珊瑚礁には褐虫藻や石灰藻などの数種類の藻類が共生している。これらの藻類は光合成により海水中の酸素濃度を調節、海水の浄化、多くの海洋生物の餌や住処としての役割をもつ。しかし、埋め立てや温暖化による海水温度の上昇や水質汚染、生態バランスの変化などが原因で、藻場は減少している。日本は 1978 年からの 20 年間で、藻場全体の 3 割に当たる約 650 km² が失われた。

■海洋生物の減少

漁場の減少、海洋魚類の乱獲により、魚類の 70% 以上は完全に搾取されているか、または激滅している。また、海水面温度の上昇による海水中の環境の変化やそれに伴う、海藻やプランクトンなどの食料の減少も問題となっている。

